

JAWLINE PP



デルタ ジョーライン PP RED ET

DELTA JAWLINE PP RED

HG942316

登録番号 NL667554861 2019.6.6生 血統濃度97%

血統	ミンゴ P + ローレント P + ボルト + スノーマン NL622784625 NL622046493 NL940147494 NL388965513
デルタ ミンゴ P ET	アメリカン ノバスター RED デルタ メルシー ET マース ローレント P RF ET 146 ヘドラ デルタ ジヨンカ ET
ホアンスター デルタ ジヨリナ RED ET	

信頼度/97% 頭数/1524 牛群/666

NVI	管理形質	
97	ロボット搾乳効率性	106
	ロボット搾乳順応性	101
	娘牛の繁殖性	101
	泌乳の持続性	103
	体細胞	98
	気質	103
	蹄の健康	102
	ロボット搾乳間隔	105
	分娩難易	103
	成熟度	113
	搾乳速度	105
	乳房の健康	99

能力 オランダ能力値(EBV)				
kg milk	-23	% Protein	0.20	kg Protein 17
% Fat	0.35	kg Fat	30	

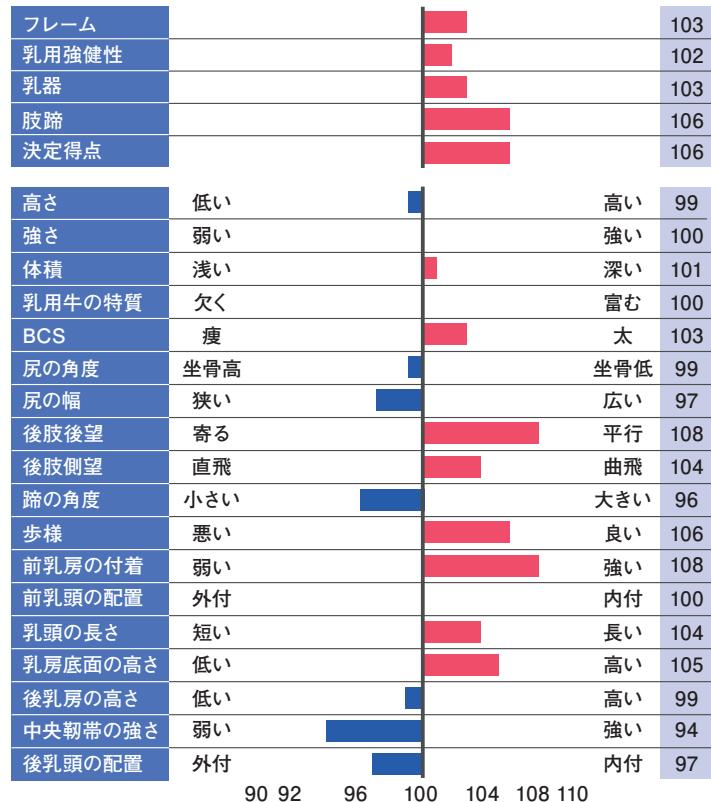


肢蹄・乳器改良



▶ 外付き後乳頭配置 ▶ 気質温和・搾乳速度、ロボット搾乳性良好

信頼度/99% 頭数/745 牛群/335



ロボット搾乳における管理形質について

2015年よりCRVより公表されているロボット搾乳性のデータは約1400軒ものロボットから日々取集分析され、育種価へ反映されています。(GGは2016年8月から)

効率性とは

ロボットに入室から退室までの間、1分当たりの搾乳量(kg)を偏差値で示したもの。

96=1.7kg/分 100=1.8kg/分 104=1.9kg/分

間隔とは

連続した2回の搾乳が成功した時間間隔を偏差値で示したもの。

偏差値が高くなれば1日のロボットへの入室回数が多くなる傾向を示します。

96=514分(8時間34分) 100=498分(8時間17分) 104=482分(8時間2分)

順応性とは

未経産牛がロボットに慣れる速さを偏差値で示したもの。

初回分娩直後(1~3週目)と泌乳後期(10~12週目)の平均搾乳間隔の差で求めます。

96=98分 100=89分 104=80分